

E. coli由来コレステロールエステラーゼ、組換え

Cat. No. DIA-405

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 ステロ―ルエステラ―ゼは、加水分解酵素のファミリ―に属し、特にカルボン酸エステル結合

に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。

この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

別名 コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラー

ゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリ

パーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

製品情報

種 大腸菌

由来 E. coli

外□ 淡い黄色の凍結乾燥物

EC番号 EC 3.1.1.13

*CAS*登□番号 9026-00-0

分子量 約54 kDa

活性 > 5 U/mg 凍結乾燥物

pH安定性 5.0-10.0

最適pH 5.5-7.0

熱安定性 50°C未□

最適温度 40°C

1.9 x 10^{-5} M (コレステロールリノレート)

構造 54 kDaのモノマー(SDS-PAGE)

特異性 コレステロールリノレート (100)、コレステロールアセテート (2)、コレステロールオレート

(98)、コレステロールパルミテート (74)、コレステロールステアレート (68)、コレステロー

ルアラキドネート (46)

安定化剤 スクロース

単位定義 1単位 (U) は、37°CおよびpH 6.0で1分あたり1 μ molのコレステロールを生成する酵素の量

として定義されます。